



気軽に温かみのある

第一勧業信用組合

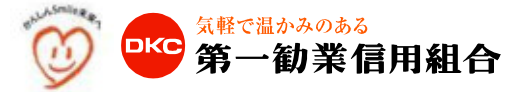
第一勧業信用組合の取組み

融資に関する検査・監督実務についての研究会（第4回）

平成30年10月29日(月)

第一勧業信用組合 理事長 新田 信行

第一勧業信用組合の取組み



「人とコミュニティの金融」、「育てる金融」を实践

一人と人との信頼に基づく金融、人・事業・コミュニティを育てる金融を实践します。

- ① 第一勧信は街の一員でありWeの関係を築く
(You & Iの関係ではなく)
 - ◎ 地域イベント(祭礼、町内会行事)への積極的参加
→ 平成30年度参加実績 619件

 - ② 目利き力No.1を目指す
→ 目利きシート30百万円以上与信先全先作成、
工場見学のポイント制定
 - ◎ 事業金融相談員の育成(認定52名)
 - ◎ 現場第一主義、非対面取引は行わない、FACE TO FACE
- ⇒ 組織価値の向上(リレーションキャピタルの増大)

当組合の小規模事業者に対する与信判断

【人を見る・事業を見る】



気軽に温かみのある
第一勧業信用組合

- 債務者区分判定（定量）
決算書の数値をベースに実施。
- 個別の与信判断（実質）
法個一体での資産、収支を勘案 → 人と事業を見る定性要因を重視。

■ 当組合の貸倒実績率(単年度)の推移

	H25/3	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3	H30/3
正常先	0.11%	0.04%	0.05%	0.12%	0.05%	0.02%
その他要注意先	0.92%	0.58%	0.23%	0.73%	0.50%	0.51%

■ 当組合の不良債権比率

H25/3	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3	H30/3
9.61%	8.18%	8.03%	7.83%	5.48%	4.56%

- コミュニティローン（コミュニティ構成員向け、小口無担保融資）
実行件数 438件 → 現状でデフォルト ゼロ

問題意識

【考え方の流れ】

組織価値 / ビジネスモデル / 個別の与信判断のあり方 /
債務者区分判定 / 償却・引当 / 開示債権

- これらのポイントを相互に関連付けながら1つひとつ検討していくことが重要だと考える。
- 人と事業を見る定性判断を加えれば、その他要注意先はミドルリスクではなく、ローリスクで、開示債権ではない。その他要注意先を不良債権予備軍として捉えてはいない。
- 「共通価値の創造」の対話をお願いしたい。
 - ◎ リレバンを「リレーションキャピタル」として再定義している。
 - ◎ 「かんしんSDGs宣言」を共通言語として発表した。



かんしん「SDGs宣言」

第一勧業信用組合は、
SDGs (持続可能な開発目標) を
経営方針の中核とし、具体的な
取り組みを通じて地域社会の持続的成長に
努めていくことを宣言いたします。

SDGsの目標項目に対する具体的な取り組み

- | | |
|---|--|
|  1 貧困をなくそう
最新ソーシャルネットワークへの加盟、(公開)バブリアクテリソース提供、
(一社)グラミン日本との連携、お客さまの資産形成支援 |  8 働きがいも経済成長も
自営・自営、コミュニティローン、かんしんビジネスくらぶ
職員の幸せ(幸せのコミュニティ) |
|  3 すべての人に健康と福祉を
働き方改革、ダイバーシティの推進、フレックスタイムの導入 |  9 産業と技術革新の基盤をつくろう
産学連携による事業開発、創業支援融資、かんしん未来ファンド、
地域クラウド交流会 |
|  4 質の高い教育をみんなに
新読書読書制度の導入、各種資格取得の金の支援(研修法庫奨励等)
お客様向け金融セミナーの開催 |  11 住み続けられるまちづくりを
人とコミュニティの交流、
社会課題の解決(ソーシャルビジネス推進) |
|  5 ジェンダー平等を実現しよう
管理職への女性登用、ダイバーシティの推進 |  17 パートナーシップで目標を達成しよう
互の連携(全国の信用組合、地域金融機関、地方公共団体、
企業、多様な企業)、G A B V (持続より経済・社会・
環境の発展という協働の考えを置く国際的組織)への加盟 |
|  7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
太陽光発電設備普及の対応 | |

(2018年9月現在)



SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標

「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会実現のため、
「持続可能な開発目標(SDGs)」が2015年9月の国連サミットにおいて採択されました。
2030年を年限とする17の国際目標が定められております。

